



人類に  
奉仕する  
ロータリー

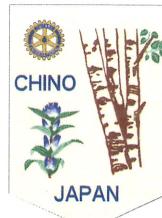
2016~2017年度国際ロータリーテーマ

# ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

# Rotary CHINO

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26



茅野ロータリークラブ活動指針

「楽しく奉仕・広がれ友好の輪」

2016 – 2017 会長 田中 淳喜 幹事 桑澤 一郎

Vol.17 1683 2016.11.30

## 会長挨拶

先週の24日の大雪には、本当にびっくりしましたが、都心で11月に雪が積もったのは、気象台が明治8年に観測を開始して以来初めて、都心の11月の初雪は昭和37年以来54年ぶりだそうです。この辺でも11月に15cmも雪が積もったのは、私の記憶にありませんので、正確なことは言えませんが、何十年ぶりのことではないかと思います。

この大雪で喜んだのは、たぶんスキー場関係者の皆さんと、寒天屋さんではないかと思いますが、逆にゴルフ場関係者の皆さんにとっては、シーズンの終わりが雪でクローズになってしまって、大打撃だったのではないかと思います。私も、26日の土曜日、チェルトの森で今シーズン最後のゴルフの予定でしたが、金曜日に早々と電話があり「クローズです。」と言われてしまいました。最近は3回連続でバーディーがでて、11月3日に87で回って以来、93・91・93・92と11月は絶好調でしたので、ぜひ最後80台で回って気分良くシーズンを終わりたかったんですが、ほんとに残念です。

もう一つゴルフの話で、ゴルフをやらない方には、大変恐縮なんですが、松山秀樹の話をしたいと思います。

松山は、10月の日本オープンの優勝を皮切りに、1ヶ月で4戦3勝、2位1回で、荒稼ぎした賞金は、実に3億3000万円。世界ランキングも自己最高の6位で、向かうところ敵なしの状態ですが、そのウラである異変が取り沙汰されています。

松山はダンロップと3年9億円に上る大型契約を結んで、ダンロップのスリクソンZR-30というドライバーを愛用していました。ところが、アメリカツアーの初戦からキャロウェイ製のグレイトピックバーサを使い続けています。アメリカに本社を置くキャロウェイは、石川遼のスポンサーとしても知られるダンロップのライバルメーカーです。

松山の快進撃を商機につなげたかったダンロップにすれば「ため息」どころの話ではありません。メーカーにとってドライバーは、一般ゴルファーの買い替え需要が見込める主力商品で、ブランドイメージにも直結するため、キャロウェイに乗り換えたのはかなりの痛手です。

ロゴの入ったクラブのソール部分を黒く塗りつぶして分からないようにして、スポンサーへの最低限の配慮はしていますが、



## ニコニコBOX

人数  
24人  
金額  
39,000円

◎田中淳喜会長 3回連続バーディー  
◎塚田久会員 岡田様、卓話宜しくお願ひします。

## 出席報告

会員数 54名  
出席 40名  
出席率 74%

実戦でライバル社のクラブを使うこと自体、重大な契約違反ではないのか?という疑問が浮かびます。その点をダンロップの広報担当に聞いたところ、「確かにキャロウェイのドライバーを使っていますが、弊社の担当者も合意の上です。」と答えたそうです。松山自身がキャロウェイのドライバーを使いたいと言い出したそうです。ライバル社が勝手に売り込んだのなら大問題ですが、自分たちがプロの要望に応えるクラブを作っていない以上、文句は言えません。

では、松山はなぜここに来てクラブを変えたのか?その理由はドライバーのタイプの違いにあります。松山がこれまで使っていたZR-30は、ヘッドの体積が420ccと小さく、ボールを捕らえにくいプロ仕様のクラブでした。対するグレイトピックバーサの体積は460ccで素人にも扱いやすいドライバーです。車にたとえると「F1カー」と「ファミリーカー」ほどの差があります。ただ、ドライバーを変えてからも、飛距離やフェアウェーキープ率は変化していません。松山の得意であるアイアンとパターに集中するため、神經を使わなくても、安定したティーショットが打てるドライバーを選んだ、ということです。

とは言え、松山効果は絶大で、グレイトピックバーサはファンの間で注目的になっているそうですが、このクラブはすでに廃番モデルで、中古用品店では値段が急騰し、在庫も無い、ということ、キャロウェイとしては、全く旨みがないそうです。

結局、ライバル社同士のマッチプレーは、痛み分けに終わつたということです。

## 幹事報告

※別紙幹事報告書

## 卓話

## 「サイバー犯罪の現状と対策」

茅野警察署 生活安全課  
課長 岡田隆行 様



インターネットの普及（日本ではネット利用人口国民の8割）に伴う、サイバー犯罪についての現状と対策についてお話をいただきました。

重要な点は一般人が「便利だ」と思って使っている以上に犯罪者達が「都合よく便利だ」と思って使っていることをよく知ってもらう必要がある。また、ネットはプライベートな空間でないことも再認識してほしい。現場にいなくても世界中のどこからでも瞬時に犯罪を行うことができる。犯罪に遭わない対策としてウィルスソフトの活用や修正プログラムを最新版に更新するなど。